

完了後の評価個表

整理番号	27
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	大分県
地域（地区）名	おおいたほくぶ 大分北部	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	べっぶし 別府市ほか6市町	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H30年度（8年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	本地区は大分県の北部に位置し、東に国東半島の両子山系、南は一尺八寸山から人見岳を経て由布岳、西は犬ヶ岳、英彦山による山々の稜線に、北は周防灘から伊予灘及び東にかけての別府湾の海岸に囲まれた6市1町を包括する地域である。 本地区の総面積は194千haであり、このうち民有林の森林面積は116千ha（民有林率94%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は51千ha（人工林率44%）で、人工林の齢級構成は、8齢級以上の森林が64%と森林資源は充実している。 本地区の主要な河川である山国川は、福岡県の京築地域や北九州市民の水瓶であるが、近年の記録的な集中豪雨によって洪水が度々発生している。中央部を流れる駅館川は、県内最大の穀倉地帯である宇佐地域を支えている。本地区の森林はこれらの河川の上流部にあり、本地区の木材産業のみならず、地域経済の振興において重要な役割を担っている。 このため、主伐の推進によって、充実した森林資源を活用した地域の林業・木材産業の活性化を図り、併せて、再造林や下刈り、間伐等の森林整備を実施することにより、水源涵養等の森林の有する公益的機能を発揮させる必要がある。 本事業では、大分北部地域森林環境保全整備事業計画に基づき、森林施業の集約化や伐採と造林の一貫作業などによる効率化を図りつつ、間伐や再造林等の森林整備を実施したものである。 ・主な事業内容 森林整備：11,265ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐等 ・総事業費：2,571,989千円（税抜き2,401,631千円） （平成22年度の事前評価時点5,854,434千円）
----------	---

① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	令和6年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。 なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用の差異については、地域の実情に応じた事業量の変動等によるものである。 総便益（B） 15,679,804千円（平成22年度の評価時点56,146,611千円※） 総費用（C） 5,115,871千円（平成22年度の評価時点11,705,613千円※） 分析結果（B/C） 3.06（平成22年度の評価時点4.79※）
------------------------	---

② 事業効果の発現状況	本事業によって 11,265ha の森林が整備されたことにより健全な森林が育成され、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られている。
③ 事業により整備された施設の管理状況	整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。
④ 事業実施による環境の変化	森林整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能が高度に発揮されている。
⑤ 社会経済情勢の変化	本地区及び近隣地域において、合板工場やバイオマス発電施設等向けチップ工場など、低質材を含めた木材供給先が確保されたことにより、未利用材を含む主間伐材の搬出が促進された。 また、森林作業道の整備による作業現場へのアクセス改善や森林施業の集約化によるコストの縮減が図られたことにより、森林所有者の森林施業への意欲が向上した。
⑥ 今後の課題等	本地区における人工林の多くが主伐期を迎えていることから、現地条件に即した確実な再造林の実施が必要となっている。また、伐採と造林の一貫作業システムの更なる普及や特定母樹等を用いた低コスト造林の推進等により、厳しい環境下にある林業経営体の安定的な収益の確保を図る必要がある。 地元の意見： (大分県) 本事業により再造林などの森林整備が行われたことで、将来の森林資源の確保と、公益的機能の早期回復が図られている。
評価結果	必要性： 水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、適正な再造林や保育、間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。 効率性： 森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的かつ適確な森林整備を実施しており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られていることから、事業の有効性が認められる。

※平成 22 年度評価時点における数値について、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：大分県

地域（地区）名：大分北部

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,107,554	
	流域貯水便益	837,272	
	水質浄化便益	3,403,312	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,489,565	
	土砂崩壊防止便益	300,085	
環境保全便益	炭素固定便益	1,542,016	
総 便 益 (B)		15,679,804	
総 費 用 (C)		5,115,871	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,679,804}{5,115,871} = 3.06$		

森林環境保全整備事業 大分北部地域(大分県)

姫島村

凡 例	
計 画 区 界	
事 業 区 域	
森 林 整 備	
林業専用道等整備	



豊後高田市

国東市

中津市

宇佐市

杵築市

日出町

別府市



搬出間伐



人工造林



森林作業道